

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 4 月 26 日 (2007.4.26)

【公表番号】特表 2002-542825 (P2002-542825A)

【公表日】平成 14 年 12 月 17 日 (2002.12.17)

【出願番号】特願 2000-615760 (P2000-615760)

【国際特許分類】

**C 1 2 N 15/09 (2006.01)**

**A 6 1 K 45/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 1/02 (2006.01)**

**A 6 1 P 1/04 (2006.01)**

**A 6 1 P 1/16 (2006.01)**

**A 6 1 P 3/10 (2006.01)**

**A 6 1 P 7/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 9/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 9/10 (2006.01)**

**A 6 1 P 9/14 (2006.01)**

**A 6 1 P 15/06 (2006.01)**

**A 6 1 P 17/02 (2006.01)**

**A 6 1 P 19/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 25/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 25/16 (2006.01)**

**A 6 1 P 25/28 (2006.01)**

**A 6 1 P 43/00 (2006.01)**

**C 0 7 K 14/49 (2006.01)**

**C 0 7 K 16/24 (2006.01)**

**C 1 2 N 1/15 (2006.01)**

**C 1 2 N 1/19 (2006.01)**

**C 1 2 N 1/21 (2006.01)**

**C 1 2 P 21/02 (2006.01)**

**C 1 2 Q 1/02 (2006.01)**

**C 1 2 Q 1/68 (2006.01)**

**G 0 1 N 33/53 (2006.01)**

**G 0 1 N 33/566 (2006.01)**

**C 1 2 N 5/10 (2006.01)**

**C 1 2 N 5/06 (2006.01)**

**A 6 1 K 38/00 (2006.01)**

**C 1 2 P 21/08 (2006.01)**

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 1/02

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 7/00

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/14

A 6 1 P	15/06	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	19/00	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	25/16	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	43/00	1 1 1
C 0 7 K	14/49	
C 0 7 K	16/24	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 P	21/02	C
C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 Q	1/68	A
G 0 1 N	33/53	M
G 0 1 N	33/566	
C 1 2 N	5/00	A
C 1 2 N	5/00	E
A 6 1 K	37/02	
C 1 2 P	21/08	

## 【手続補正書】

【提出日】平成19年3月5日(2007.3.5)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 下記のアミノ酸配列の何れか：

配列番号2の残基19～179；

配列番号2の残基52～179；

配列番号2の残基19～253；

配列番号2の残基52～253；

配列番号2の残基19～255；

配列番号2の残基52～255；

配列番号2の残基19～257；

配列番号2の残基52～257；

配列番号2の残基19～370；

配列番号2の残基52～370；

配列番号2の残基180～370；又は

配列番号2の残基258～370

を含む単離されたポリペプチド。

【請求項2】 下記アミノ酸配列の何れか：

配列番号2の残基258～370；

配列番号2の残基52～370；又は

配列番号2の残基19～370；

からなる、請求項1に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項 3】 アフィニティータグをさらに含む請求項 1 に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項 4】 免疫グロブリン定常ドメインをさらに含む請求項 1 に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項 5】 二次ポリペプチドとジスルフィド連結された一次ポリペプチドを含む単離されたタンパク質であって、前記一次ポリペプチド及び二次ポリペプチドのそれぞれが配列番号 2 の残基 258～370 を含み、そして前記タンパク質が細胞増殖、アポトーシス、分化、代謝または移動を調整する、単離されたタンパク質。

【請求項 6】 前記一次ポリペプチド及び二次ポリペプチドのそれぞれが、  
配列番号 2 の残基 19～370；  
配列番号 2 の残基 52～370；又は  
配列番号 2 の残基 258～370；  
を含む請求項 5 に記載の単離されたタンパク質。

【請求項 7】 (a) 以下の作用可能に連結された要素：  
転写プロモーター、  
以下のアミノ酸配列：

- i) 配列番号 2 の残基 52～370、
- ii) 配列番号 2 の残基 180～370、および
- iii) 配列番号 2 の残基 258～370

から成る群から選択されるアミノ酸残配列を含むポリペプチドをコードする DNA セグメント、

転写ターミネーター、  
を含む発現ベクターを含有する宿主細胞を前記 DNA セグメントが発現される条件下で培養し、そして

(b) DNA 構築物の発現のタンパク質産物を細胞から回収する、  
工程を含む方法により產生される単離されたタンパク質。

【請求項 8】 長さが約 4.4kb までの単離されたポリヌクレオチドであって、配列番号 2 の残基 258～370 を含むポリペプチドをコードする単離されたポリヌクレオチド。

【請求項 9】 DNA である請求項 8 に記載のポリヌクレオチド。

【請求項 10】 配列番号 6 のヌクレオチド 1～1110 を含む請求項 9 に記載のポリヌクレオチド。

【請求項 11】 配列番号 1 のヌクレオチド 226～1335 を含む請求項 9 に記載のポリヌクレオチド。

【請求項 12】 以下の作用可能に連結された要素：  
転写プロモーター、  
請求項 9 の DNA ポリヌクレオチド、および  
転写ターミネーター、  
を含む発現ベクター。

【請求項 13】 DNA ポリヌクレオチドに作用可能に連結された分泌シグナル配列をさらに含む請求項 12 の発現ベクター。

【請求項 14】 請求項 12 または請求項 13 の発現ベクターを導入された培養細胞であって、DNA ポリヌクレオチドによりコードされるポリペプチドを発現する細胞。

【請求項 15】 請求項 5～7 のいずれか 1 項に記載のタンパク質を製薬上許容可能なビヒクルと組合せて含む製剤組成物。

【請求項 16】 請求項 12 または請求項 13 の発現ベクターを導入された細胞であって、DNA ポリヌクレオチドを発現してポリヌクレオチドによりコードされるタンパク質を產生する細胞を培養し、そして

タンパク質を回収する、  
工程を含むタンパク質の製造方法。

【請求項 17】 請求項 5～7 の何れか 1 項に記載のタンパク質のエピトープと特異

的に結合する抗体。

【請求項 18】 モノクローナル抗体である請求項 17 に記載の抗体。

【請求項 19】 一本鎖抗体である請求項 17 に記載の抗体。

【請求項 20】 レポーター分子に作用可能に連結された請求項 17 に記載の抗体。

【請求項 21】 遺伝子異常の検出方法であって、

配列番号 1 または配列番号 1 の相補体の少なくとも 14 連続ヌクレオチドを含むポリヌクレオチドとともに遺伝子試料を、前記ポリヌクレオチドが相補的ポリヌクレオチド配列とハイブリダイズして一次反応産物を生成する条件下でインキュベートし、

前記一次反応産物を対照反応産物と比較し、この場合、前記一次反応産物および前記対照反応産物間の差が遺伝子異常を示す、

工程を含む方法。

【請求項 22】 請求項 5 ~ 7 のいずれかのタンパク質を含んで成る細胞表面 PDGF 受容体の活性化剤。

【請求項 23】 受容体が PDGF - 受容体である請求項 22 に記載の活性化剤。

【請求項 24】 請求項 5 ~ 7 のいずれか 1 項に記載のタンパク質を含んで成る PDGF 受容体媒介性細胞過程の抑制剤。

【請求項 25】 請求項 5 ~ 7 のいずれかのポリペプチドまたはタンパク質を含んで成る骨組織の増殖の刺激剤。

【請求項 26】 請求項 5 ~ 7 のいずれかのタンパク質を含んで成る骨細胞の増殖、分化、移動または代謝の調整剤。

【請求項 27】 医薬として許容されるベヒクルと組合せて請求項 5 ~ 7 のいずれか 1 項に記載のタンパク質を含んでなる組成物。

【請求項 28】 医薬として許容されるベヒクルと組合せて請求項 17 ~ 20 のいずれか 1 項に記載の抗体を含んでなる組成物。

【請求項 29】 固形腫瘍の増殖を低下させるための請求項 28 に記載の組成物。

【請求項 30】 線維症を低下せしめるための請求項 28 に記載の組成物。